落合地区まちづくり懇話会

日　時：平成 30 年 7 月 2 日（月）18 時～

場　所：落合公民館

テーマ：人口減少への対応

［対応方針・対応状況］

①自治会への支援について

〈参加者の発言要旨〉

　少子高齢化で地域コミュニティが低下してきています。少子化で育成会がなくなるところがありますし、なるべく自治会のほうに負担をかけないような方向性で、政策を執っていただければと思います。

〈市側の発言要旨〉

　何らかの形で、助成の支援策で使えるものもありますし、先進事例として、日光市内や県外など他の自治会での取り組みがありますので、一緒に研究しながら、取り組めることや可能性について検討していきたいと考えています。

◇対応方針・対応状況

　自治会は、地域の互助組織を担う、最も基礎的なコミュニティ組織です。しかしながら、近年の少子高齢化の進行や単身世帯の増加などにより、加入率の低下に加え、住民の高齢化や役員の担い手不足など、多くの課題を抱えているのが現状です。このようななか、当市では、自治会活動への支援として、活動に対する経費の一部を補助する制度や、市の支援策をまとめた「自治会活動お役立ち情報」の配布などを行っています。今後も、自治会長会など、さまざまな機会を捉えて、それぞれの自治会が抱える現状を把握するとともに、先進地事例等の情報を提供しながら、自治会活動の活性化に向けた支援を継続してまいります。なお、それぞれの自治会においてお困りごと等がある場合には、遠慮なく、地区センターにご相談ください。

②居場所づくり（サロン）について

〈参加者の発言要旨〉

　地域の人達が気軽に立ち寄れておしゃべりなどができる「田舎カフェ」的な場

所があるといいなと思っていました。JR 文挟駅などを利用して、並木の散策やお蕎麦を食べるとかで、落合に立ち寄ってもらえたらいいかなと思います。婦人会等、女性の力を何かに活かせたら落合地区が元気になるのではないかと思います。また、場所については自治公民館もありますが、あちこちに空き家がありますので、そちらを利用し、維持費や運営費の一部を市に支援していただければ非常にいいのではないかと考えています。

〈市側の発言要旨〉
　市といたしましては、高齢者の方が家に引きこもるのではなく、気軽に集まって交流を深め、結果的に健康づくりや介護予防に繋がっていければと、取り組んでいるところです。市内でもいろいろな所で取り組みが始まっており、この広がりを今後とも持っていきたいところです。他の所の取り組み事例とかを紹介して、活動の広がりに繋がっていければと考えております。またそういう設置に対しても、何らかの支援ができるかということも、今検討をしているところでございます。

◇対応方針・対応状況
　現在、市内各地で高齢者が気軽に集えるサロンの開設が地元の方によって進められています。現在は、開設費等への助成制度はありませんが、サロンは高齢者の健康づくりや孤独感の解消、また、介護予防、さらに地域のつながりを強化するためにも、開設をさらに進めるべきと考えております。
　このため、現在、サロンを運営していただける担い手の養成を進めるとともに、開設費等への助成制度について、検討しているところです。なお、開設を考えている方のために、先進事例について広報紙等でお知らせする予定です。

③農林業による住民の交流について

〈参加者の発言要旨〉
　落合地区は、昔から農林業が非常に盛んで、農産物の直売や食材の提供などもできる地域です。農林業と一般の地域住民の方々の交流を積極的に進めれば、新しい落合地区が見えるのではないかという気もいたしております。

〈市側の発言要旨〉
　自分で実際に農業ができない方については、できる方に耕作してもらうということもやっているようでございます。そういった方が自分の活力を見出すた

めに、近所の方と一緒にやっていくのは 1 つの方法だと思いますので、これについては担当部署で研究をさせていただきたいと思っています。

◇対応方針・対応状況

市では、市内小学校や保育園等を対象に農業体験学習支援事業を実施しています。現場においては、農業指導に地元の農業者にご協力をいただいていることが多く、ひとつの交流となっていると思います。また、企業連携などによる農業の活用についても研究していきます。

④ウォーキングコースについて

〈参加者の発言要旨〉

公民館周辺にウォーキングコースがあるといいと思います。広めの歩道に街灯で明るい場所を作れないかと思います。

〈市側の発言要旨〉

照明があれば周りのコースでもできると思いますが、夜間照明となりますと、歩道の整備等いろいろな所が必要になってくると思いますので、まずは今やっている公民館事業を活用していただいて、残土処分場の絡みなども含めて検討させていただければと思います。

◇対応方針・対応状況

ウォーキングコースにつきましては、まずは落合公民館で落合中学校校庭で実施している、夜間ウォーキング教室の普及啓発に努めたいと思います。（落合運動公園の外周路には、今市工業高等学校との学官連携事業により夜間照明を設置しています）

なお、残土処分場については、埋め立て完了後の状況を調査したうえで、跡地利用を検討していきます。

⑤日光杉並木街道隣接地の公有地化について

〈参加者の発言要旨〉

文挟駅から境石方面まで、伐採を少しでも早く進めてもらえれば、（JR 寝台列車）四季島の乗客の皆さんに喜んでもらえるのではないかと思っています。それ

に合わせまして、用地の買収とかについても、市から県に要望をお願いしたいと思っています。

〈市側の発言要旨〉
　市としましては、並木の保護は県と一緒にやっています。公有地化についても要請等をしていきたいと思います。

◇対応方針・対応状況
　日光杉並木街道隣接地の公有地化は、杉並木の保護の観点から県文化財課が進めています。その動向を注視しながら要望等を行って行きたいと考えています。

⑥デマンドバスについて

〈参加者の発言要旨〉
　デマンドバスについて、１回につき３００円のところ、８月から９月までは、１００円でした。１００円にするのであれば、無料にはならないのでしょうか。無料化にすれば利用者が多くなると思いますので、試験的にやってもいいのではないかと思います。

〈市側の発言要旨〉
　昨年も実施し、いくらかは利用の数が増えたのですが、アンケート等地元の方にお聞きしますと、使い方がわかりづらいとか、乗ったことがないというご意見も伺っております。今年度も実施しまして、周知の仕方も各戸にさせていただきました。まだ必要なところがあれば、もう少し周知の方法を考えて乗っていただくような手立てを考えていきたいと思います。

◇対応方針・対応状況
　デマンドバスを利用したことのない方が多くいらっしゃるということで、利用促進を図るため、平成２９年８月の１ヶ月間、初めて利用促進月間を実施したところです。
　その結果は、わずかではありますが利用者数の伸びが見られ、デマンドバスへの理解が広がったと考えています。このことから、平成３０年度も利用促進月間を実施することとし、より多くの方に利用していただくため、８月から９月の２ヶ月間の実施としたところです。

なお、実施にあたっては、無料での実施も検討いたしましたが、有料公共交通の利用促進の試みであるため、１回１００円とさせていただいているところです。

高齢者の無料化とのご提案でありますが、公共交通の維持確保と併せ、高齢者の移動対策につきましては、別途検討が必要と考えております。